年度 2009 学期 前期	曜日・校時 火・2 /	水•1	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	総合英語I					
	(Comprehensive English I)	)				
対象年次 1年次 講義形態 演習		演習	教室			
対象学生(クラス等) 火 2:Lf、 水1:Le			分類 外国	語科目 (英語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー						
担当教員:西原 俊明 /Eメールアドレス:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室: /TEL:819-2095						
/オフィスアワー:火曜日 13:00-14:00, それ以外は only by appointment						
担当教員(オム						

# 担当教員(オム ニバス科目等)

### 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標

## 授業のねらい:

基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。

#### 授業方法:

授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペプワークやインフォメションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。

#### 授業到達目標:

授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

## 授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

### 授業内容(概要)

英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペプワーク(1)
- 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)
- 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)
- 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)
- 第6回 弱く発音される音,速読(phrase reading)
- 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1)
- 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)
- 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
- 第10回 グループによるデイスカッション(1),映画による聞き取り(4)
- 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3),速読(phrase reading)
- 第12回 つながる音,映画による聞き取り(4),速読(phrase reading)
- 第13回 なくなる音
- 第14回 Review
- 第15回 まとめのテスト

	<del>-</del>
キーワード	
教科書·教材·参考書	
	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト
上体示压の上法 甘	
成績評価の方法・基準等	
上 华 <del>·</del>	期末試験(50%)、小テスト(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。
/学習·教育目標	
備考(準備学習等)	毎週、Plain English による英語表現のテストを行う。